

インターンシップ感想

大阪電気通信大学 植木 将貴

私は4Dセンサー株式会社のインターンシップを約10日間行わせていただいた。このインターンシップを通して学んだことはたくさんあるが、しかし、まだまだ学ぶことはたくさんあるだろう。機会があったらまた体験したいと思う。

今回のインターンシップで印象に残ったことは、ベンチャー企業がどのようなものか、ということである。ベンチャー企業に必要なことはたくさんあるが、重要なことは、いい技術を創造し、それを人々に伝えることであった。いい技術とは自己満足で終わるものではなく、社会の役に立つ技術であり、みんなに必要とされるものであった。そして、そのいい技術を伝えたとき、関心を持ってくれた人に対するフォローもベンチャー企業の未来をつなぐ大きな一つであった。関心を継続させるには一度の連絡だけでは難しく、心をつかむ行動が必要であった。

また、技術を完成させるスピードも欠かせなかった。ベンチャー企業の人数は大手に比べかなり少ない。それを克服するために、一人一人に適した作業を振り分け、効率化をはかるのが得策である。営業や開発、さまざまな分野があるが、個人個人が責任を持ち得意な分野を担当することで仕事ははかどるのである。私がインターンシップの中で一番自分に向いていると思った作業は、機材の組み立てであった。図面通りに組み立てるという作業だが、とても楽しく作業を行うことができた。また、完成した時の達成感も大きかった。

インターンシップのなかで一番長く取り組んだことは **Kinect** というものである。**Kinect** とは人体の骨格情報の三次元位置を取得、物体のセンサーからの距離の把握、音が発生した位置の認識、顔検出などができる計測器である。この **Kinect** を起動させるために試行錯誤が多かった。参考にしていた本と **Kinect** のバージョンが異なっていたため、さまざまな変更点があり悩まされた。最終的には **Kinect for Windows** のホームページに公開されていたソースコードを用いて起動させることとなった。昔のデータに頼ることなく、柔軟に対応していくことが重要であった。

短い期間ではあったが、めったにできない貴重な体験をさせていただけたことに感謝している。今回の経験を生かし、視野を広げて生活していきたい。